



第 2 回 科学巡回指導訪問・教員対象研修会

栗原市立金成小中学校

令和6年5月31日

デモンストレーション

- 液体窒素で極低温の世界へ
- 空気砲 発射！
- 空高く舞い上がれ 熱気球
- 飛べ！ペットボトルロケット

教員対象研修会

- 講義「小学校の理科指導」
- 理科教育相談
- 薬品の取扱と管理

理科教室

- 実験教室 4年A～B組
 - ・ミクロの世界
- 実験教室 5年A～B組
 - ・ジュース電池
 - ・木炭電池
 - ・芯電球
- プログラミング教室 6年A～B組
 - ・トンネル崩落！閉じ込められた人を探せ

感想

タオルをマイナス100度くらいの水に入れるとどうなるかという実験です。湯気は「冷たくても出てくる」ことは以前教えてもらってました。冷たくて凍ってしまうと思ったら、水につけてしばらくの方は凍って、水につけなかった方は凍らなくてびっくりしました。

最初は空気砲でした。私は空気砲はドラえもんでしか見ていなくて、本当にあったことにおどろきました。次に気球です。わたしが小さい時に、気球を見に行き近くでみたことはありますが、あんなに近くでは見ていないのでよかったです。

一番楽しかったことは、プログラミングです。グループで相談して、ボルトを動かしました。救助者を発見するために、どのようなプログラムにするとよいか、協力して考えました。もとの場所にもどるところまではできなかったけど、みんなで考えて、思ったとおりに動いた時はうれしかったです。

